

# 平成22年 第2回定例会 予算決算常任委員会 教育警察分科会

## I 議案補充説明

ページ

議案第67号 「平成22年度三重県一般会計補正予算（第9号）」 （教育委員会関係） .....	1
--	---

平成22年11月30日

教育委員会

議案第67号「平成22年度一般会計補正予算第9号」【教育委員会関係】

歳出補正予算

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正予算額	計	内容
教育委員会関係 合計	173,418,728	39,186	173,457,914	
教育総務費	24,595,286	39,186	24,634,472	
(内 訳)				
一般人事管理費	66,826	11,135	77,961	県立学校の環境整備に従事する臨時労務員を緊急に雇用するための増額 配置校(13校15人) 桑名北、四日市農芸、神戸、石薬師、津(2)、津西、津工業(2)、相可、宇治山田、伊勢工業、名張桔梗丘、木本、緑ヶ丘
高校生内定獲得緊急支援事業費	—	28,051	28,051	就職未内定の高校生が内定を得られるよう就活ゼミや事業所での実地訓練を緊急に実施するための増額 就活ゼミ(11地域) 桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、志摩、伊賀、名張、尾鷲、熊野

# 高校生内定獲得緊急支援事業(案) (平成22年11月30日)

[ 予算総額 28,051千円 ]

## 背景

- ・求人数が減少する中、1月以降においても就職未内定の高校生が相当数いることが予想される。
- ・未内定生徒の多くは、自己理解や社会適応の力に課題があるとともに、希望する職種と求人との間にミスマッチが生じている。

## 対策

- ① 未内定生徒が自己理解や社会適応の力を向上させるとともに、内定を獲得するための活動のノウハウを得る。
- ② 未内定生徒が自身の職業適性を知り、企業は雇用に向けた環境整備を進められるよう、実地訓練(インターンシップ)を行う。

### ① 高校生就活ゼミ緊急実施事業

[ 委託費等 11,964千円 ]

会場 県内11地域(注)  
期間 1月から3月まで  
1日5時間程度を週1回、  
計6回実施  
人数 100人

- ステップ1  
自己分析等による自己理解の促進と、コミュニケーション能力の育成
- ステップ2  
職種理解、企業訪問等による内定に向けたノウハウ獲得

#### 【学校】

※個人カルテにより、情報を共有。

※指導のノウハウを学び、来年度以降の進路指導に活用。

カウンセリング・求人開拓

### ② 高校生緊急就業サポート事業

[ 委託費等 16,087千円 ]

- 企業における実地訓練(20日間のインターンシップ)  
期間 2月初旬から3月中旬まで 人数 30人
- 実地訓練中における生徒の就業支援  
訓練中、カウンセリングの技術・能力を持つ支援員が巡回指導を行う。
- 受入企業  
過去3年間に高校生の採用実績のある企業、及びその他企業から、事業受託業者及び県教育委員会インターンシップ受入事業所調査員等が募集する。

(注)県内11地域  
桑名・四日市・鈴鹿・津・松阪・伊賀・名張・伊勢・志摩・尾鷲・熊野

就職内定獲得へ

- (参考) ①合同企業説明会・就職情報交換会 12月上旬～2月下旬に実施  
②4月以降の支援事業  
3年以内既卒者トライアル雇用奨励金(厚生労働省) 新卒者就職応援プロジェクト(経済産業省)